

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【公開番号】特開 2020-59992 (P2020-59992A)

【公開日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-015

【出願番号】特願 2018-190416 (P2018-190416)

【国際特許分類】

E 0 3 C 1/266 (2006.01)

B 0 1 D 17/025 (2006.01)

B 0 1 D 17/032 (2006.01)

B 0 1 D 21/02 (2006.01)

【F I】

E 0 3 C 1/266 Z

B 0 1 D 17/025 5 0 2 A

B 0 1 D 17/025 5 0 2 B

B 0 1 D 17/032 5 0 2 A

B 0 1 D 21/02 Q

B 0 1 D 21/02 R

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 27 日 (2021.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シンク部と、前記シンク部から供給された厨芥と油脂分と水分とを含む厨房排水を処理する油水分離装置とを備えたシンクであって、

前記油水分離装置は、前記厨房排水を排出する排水口が底面に開閉可能に設置され、比重の差によって前記厨房排水を油脂分相と水相とに分離するとともに前記厨芥を沈殿させるグリーストラップ部と、

前記油脂分相を排出する油脂分排出装置とを有し、

前記油脂分排出装置は、上下方向に延在し、前記排水口に接続される接続部が形成された本体と、

前記本体に設けられた油脂分流入口とを有することを特徴とするシンク。

【請求項 2】

前記本体の側面に、それぞれ上下方向の長さが異なる複数の孔が設けられ、

前記油脂分流入口は、前記複数の孔から選ばれる少なくとも 1 つの孔からなることを特徴とする請求項 1 に記載のシンク。

【請求項 3】

前記接続部が前記本体に着脱可能に設けられ、

前記油脂分排出装置が、前記接続部に着脱可能な水抜きパイプを有し、

前記水抜きパイプ側面に、前記グリーストラップ部内の前記水相を抜くための水抜き孔が設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のシンク。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

〔 1 〕 シンク部と、前記シンク部から供給された厨芥と油脂分と水分とを含む厨房排水を処理する油水分離装置とを備えたシンクであって、

前記油水分離装置は、前記厨房排水を排出する排水口が底面に開閉可能に設置され、比重の差によって前記厨房排水を油脂分相と水相とに分離するとともに前記厨芥を沈殿させるグリーストラップ部と、

前記油脂分相を排出する油脂分排出装置とを有し、

前記油脂分排出装置は、上下方向に延在し、前記排水口に接続される接続部が形成された本体と、

前記本体に設けられた油脂分流入口とを有することを特徴とするシンク。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

〔 2 〕 前記本体の側面に、それぞれ上下方向の長さが異なる複数の孔が設けられ、

前記油脂分流入口は、前記複数の孔から選ばれる少なくとも 1 つの孔からなることを特徴とする〔 1 〕に記載のシンク。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

〔 3 〕 前記接続部が前記本体に着脱可能に設けられ、

前記油脂分排出装置が、前記接続部に着脱可能な水抜きパイプを有し、

前記水抜きパイプ側面に、前記グリーストラップ部内の前記水相を抜くための水抜き孔が設けられていることを特徴とする〔 1 〕に記載のシンク。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

本発明のシンクは、厨房排水を排出する排水口が底面に開閉可能に設置されたグリーストラップ部と、油脂分相を排出する油脂分排出装置とを有する油水分離装置を備え、油脂分排出装置が、上下方向に延在し、排水口に接続される接続部が形成された本体と、本体に設けられた油脂分流入口とを有する油脂分排出装置を備えている。このため、油水分離装置の開閉手段によって排水口を開閉する方法により、グリーストラップ部で分離された油脂分相を排出できる。したがって、本発明のシンクによれば、厨房排水から分離した油脂分を容易に排出できる。